

令和 7 年度 生徒による学校生活満足度アンケート 結果報告書

- 1 集約日 令和 8 年 2 月 3 日
- 2 対象 生徒 142 名（1 学年 41 名、2 学年 44 名、3 学年 57 名）
- 3 回答数 生徒 142 名（1 学年 39 名、2 学年 40 名、3 学年 53 名）

【1 学年】学校生活満足度アンケート集計結果

- 1 4 段階評価項目の平均値と回答分布（4: 満足、3: まあ満足、2: やや不満、1: 不満）
全体的に「一人一台端末の利用」や「学校行事」への満足度が高く、「放課後講習」が相対的に低い傾向にある。

評価項目	平均値	4	3	2	1
① 授業全般について	3.13	10	24	5	0
② 習熟度別・選択授業	3.21	13	21	5	0
③ 放課後講習等	2.90	12	15	8	4
④ 一人一台端末の利用	3.56	27	7	5	0
⑥ 生活支援（担任・学年）	3.23	17	15	6	1
⑦ キャリア教育全般	3.18	14	19	5	1
⑨ 学校行事	3.54	25	10	4	0
⑩ 部活動の指導・活動	3.18	17	15	4	3
⑪ 学校生活全般	3.15	15	15	9	0

2 自由記述項目の分類・要約

各項目における生徒の声を「肯定的」「否定的」「要望」の 3 つの視点で整理した。

■ 学習・進路支援（項目(5), (8)）

・肯定的：

- 習熟度別授業が自分に合ったレベルで受けられるので非常に良い。
- 求人票の提示や、普段あまり関わりのない先生との教育相談が新鮮で話しやすかった。

・否定的：

- 一方的な説明だけの授業（話だけで 1 時間終わる）は退屈を感じる。
- 先生によっては面談で本音を言い過ぎてしまい、生徒が萎えてしまう場面がある。

資料3

・要望：

- 習熟度別クラスの先生を定期的にローテーションしてほしい。
- 1年生のうちから、具体的な入試方法や出願手順をもっと詳しく教えてほしい。

■ 学校生活・行事（項目(12), (13), (15)）

・肯定的：

- 行事がとにかく楽しく、他校よりも全力で取り組んでいる雰囲気がある。
- 先輩後輩の仲が良く、フレンドリーで疎外感を感じない。

・否定的：

- 教室の温度調節が極端（冬は暑すぎるか寒すぎるかの二択）。
- 部活動を強く勧められる雰囲気や、入っていない生徒への風当たりや違和感がある。

・要望：

- トレーニングルームの器具（シャフトやプレート）を増やしてほしい。
- 夏場の暑さ対策として、ジャージ登校や扇風機以外の空調設備を検討してほしい。

■ 校則・教育活動への要望（項目(16), (17)）

・要望（校則）：

- 入室許可証の廃止：トイレや体調不良時に保健室へ行きづらいため、最も多くの改善要望が出ている。
- スマホ利用の緩和：休み時間や行事の際、思い出作りのために写真撮影などを許可してほしい。
- 服装・身だしなみ：通年でのジャージ登校許可や、清潔感を保つ程度の薄いメイク（ニキビ隠し等）を認めてほしい。

・要望（教育活動）：

- 置き勉の許可：毎日すべての教科書を持ち歩くのは重すぎて不便。
- 全校応援の継続：運動部の大会での全校応援はモチベーションが上がるので、来年以降も継続してほしい。

■ 自己成長と来年度への抱負（項目(14), (18)）

- ・成長：メンタル面の強化、責任感の向上、挨拶の習慣化など、内面的な自立を実感している生徒が多い。
- ・抱負：苦手な英語の克服、部活動での全道大会進出、そして「後輩に優しくできる先輩になりたい」という声が目立つ。

資料3

- 2学年は1学年と比較して、「進路」への意識が急速に高まっている一方で、「授業の質」や「校則」に対してより具体的かつ厳しい視点を持っているのが特徴である。

【2学年】学校生活満足度アンケート集計結果

1 4段階評価項目の平均値と回答分布

全体的に「一人一台端末」や「進路支援」には一定の評価があるものの、「放課後講習」や「部活動」の満足度が1学年に比べて低い数値となっている。

評価項目	平均値	4	3	2	1
① 授業全般について	2.95	3	33	3	1
② 習熟度別・選択授業	2.95	7	26	5	2
③ 放課後講習等	2.50	5	17	11	7
④ 一人一台端末の利用	3.35	21	15	1	3
⑥ 生活支援（担任・学年）	3.08	12	21	5	2
⑦ キャリア教育全般	3.12	13	20	6	1
⑨ 学校行事	3.35	20	14	6	0
⑩ 部活動の指導・活動	2.65	9	14	11	6
⑪ 学校生活全般	2.90	6	24	10	0

2 自由記述項目の分類・要約

■ 学習・進路支援（項目(5),(8)）

・肯定的：

- 進路相談に親身に乗ってくれる。迷っている時に適切なアドバイスをもらえて心が軽くなった。
- 大半の先生が分かりやすく教えてくれる。

・否定的：

- 選択授業の決定時期が早すぎる。十分に吟味できないまま決めることへの不安がある。
- 習熟度別クラス（ α/β ）で授業内容や進度に差があり、テスト対策がしにくい。

・要望：

- 習熟度別であっても、自分の意思で（テスト結果とは別に）クラスを選択できる余地がほしい。
- 授業の質にバラつきがあるため、より専門的で意欲の湧く授業を期待したい。

資料3

■ 学校生活・行事（項目(12), (13), (15)）

・肯定的：

- 先生との距離が近く、相談しやすい環境が良い。
- 「君に届け」の聖地であることや、韓国交流、探究学習など、他校にない独自の魅力がある。

・否定的：

- 見学旅行の自主研修におけるグループ分けへの不満（固定メンバーになりがちで疲れる）。
- ラグビー部など一部の部活動で顧問が不足しており、活動が制限されている。

・要望：

- 夏休みが終わると行事が一気になくなるため、後半にも楽しみがほしい。
- 学校全体のデジタル環境（Wi-Fi等）をより安定させてほしい。

■ 校則・教育活動への要望（項目(16), (17)）

・要望（校則）：

- メイク・おしゃれの許可：「社会人としてのマナー」という視点から、練習として薄いメイクを許可すべきという意見が強い。
- 入室許可証の運用改善：職員室まで取りに行くのが遠い、あるいはその手間のせいで体調不良を我慢してしまうケースがある。
- バイトの制限緩和：経済的な不安や将来の自立のため、平日や長期休暇以外にも許可してほしい。

・要望（教育活動）：

- 選択授業の中に、実は必修にしてほしいと感じるほど重要なものがあるため、カリキュラムを見直してほしい。

■ 自己成長と来年度への抱負（項目(14), (18)）

- ・成長：「コミュ力の向上」を挙げる生徒がいる一方、「進路を真剣に考えるようになった」「効率的に動けるようになった」といった、受験や就職を見据えた現実的な成長を感じている生徒が多い。
- ・抱負：「志望校合格」「就職活動を頑張る」など、3年生での進路決定に向けた不退転の決意が多数見られる。

資料3

最高学年である3年生は、卒業を控えていることもあり、「進路実現」への感謝と、「学校運営の安定性」に対する鋭い視点が共存しているのが印象的である。

【3学年】学校生活満足度アンケート集計結果

1 4段階評価項目の平均値と回答分布

進路指導（キャリア教育）や学校行事への満足度が非常に高く、学校生活全般に対しても1・2年生より高い肯定感を示している。

評価項目	平均値	4	3	2	1
① 授業全般について	3.19	18	28	6	1
② 習熟度別・選択授業	3.30	25	20	7	1
③ 放課後講習等	3.19	24	20	4	5
④ 一人一台端末の利用	3.38	32	12	6	3
⑥ 生活支援（担任・学年）	3.15	27	11	11	4
⑦ キャリア教育全般	3.40	28	18	7	0
⑨ 学校行事	3.57	34	15	4	0
⑩ 部活動の指導・活動	3.08	25	12	11	5
⑪ 学校生活全般	3.30	24	21	8	0

2 自由記述項目の分類・要約

■ 学習・進路支援（項目(5), (8)）

・肯定的：

- 受験・就職支援が非常に手厚く、面接練習などが合格の力になった。
- 3年生になり選択科目が増え、自分の興味に沿った学習ができた。

・否定的：

- 選択科目の変更や融通が利かない場面があり、直前の進路変更に対応しにくかった。
- 受験直前の合唱練習など、時期による学習優先度の配慮をもう少し求めたかった。

・要望：

- 共通テスト等の模試代金の全額補助を検討してほしい。

■ 学校生活・行事（項目(12), (13), (15)）

・肯定的：

- 最後まで楽しく過ごせた。同級生や先生との距離が近く、居心地が良かった。

資料3

○ 地域と協力した行事や、全校応援が良い思い出になった。

● 否定的：

- 年度途中の教員の異動や、部活動顧問の不在期間に対する不安・不満。
- 部活動間の「遠征時の方針」の差が大きく、不公平感がある。

● 要望：

○ 学校祭やレクの時間を、3年生の最後までしっかりと確保してほしい。

■ 校則・教育活動への要望（項目(16), (17)）

・要望（校則）：

- 入室許可証の撤廃：下級生同様、最も多い要望。トイレに行く時間にまで許可証が必要なのは不合理との声。
- 体育時の服装：指定ジャージだけでなく、Tシャツ等の自由度を上げてほしい。

● 要望（教育活動）：

○ 生徒一人ひとりにさらに真剣に向き合ってくれる体制の継続。

■ 卒業後の抱負（項目(14), (18)）

- ・成長：「臨機応変な対応力」「周りを巻き込む力」「困難を乗り越える粘り強さ」など、3年間を通じた確かな自己成長を実感。
- ・抱負：「新しい環境で真面目に通い続ける」「貯金をする」「資格取得」など、自立した社会人・学生としての現実的かつ前向きな決意が多くみられた。

【3 学年全体のまとめ】（全校比較と総括）

1 学年別満足度の推移

指標	1 学年	2 学年	3 学年
学校生活全般（平均値）	3.15	2.90	3.30
学校行事の満足度	3.54	3.35	3.57
学習支援への満足度	3.13	2.95	3.19

(1) 「中だるみの 2 年生」と「達成感の 3 年生」

2 年生で一度満足度が下がる傾向にあるが、3 年生では進路実現や行事の成功体験を通じて最高値に達している。

(2) 最大の強み「学校行事」

全学年通じて 3.4 以上の極めて高いスコアを記録。生徒間の仲の良さと、行事への熱量が羽幌高校のアイデンティティとなっている。

(3) 共通の課題「校則と制度」

特に「入室許可証」については全学年から一貫して「不便・不合理」との声が上がっており、見直しの優先順位が非常に高いと言える。

2 【強み】羽幌高校のアイデンティティ

(1) 全校で盛り上がる行事文化

体育大会、学校祭、全校応援への満足度が極めて高い。

※「他校に負けない熱量がある」「先輩・後輩の仲が良い」という声が多数。

(2) 手厚いキャリア支援

3 年生の満足度は 3.40。面接練習や就職支援への感謝が非常に多い。

(3) DX の浸透

一人一台端末の活用は 3.35～3.56 と高く、教育のデジタル化は成功している。

3 【最優先事項】校則・ルールの現代化

※ 生徒の不満が最も集中しているポイントの改善

(1) 「入室許可証」の運用見直し

生徒の声：「トイレに行くのに職員室まで行く時間が無駄」

「体調不良でも我慢してしまう」

改善案：職員室までの往復を廃止し、教室管理やデジタル申請、あるいは事後報告制への移行を検討。

(2) 身だしなみ規定の柔軟化

生徒の声：「社会に出る練習として薄いメイク（ニキビ隠し等）を認めたい」
「通年ジャージ登校」

改善案：「おしゃれ」と「マナー・清潔感」の境界線を生徒会と協議し、納得感のある新基準を策定。

4 【学習・進路】中だるみ防止と支援の早期化

※ 2学年の満足度低下（2.90）を防ぐ施策

(1) 選択科目決定時期の調整

課題：「2年生での決定が早すぎて不安」という声。

改善案：決定前のガイダンス充実、または仮登録期間の延長。

(2) 進路情報の早期提供

1年生から「具体的な入試手順や出願方法」を知りたいというニーズ。

改善案：3年生の体験談を聞く会など、リアリティのある情報の早期提供。

5 【生活環境】物理的環境のアップデート

(1) 教室の温度管理と服装

課題：「夏は暑すぎ、冬は暑すぎるか寒すぎる」

改善案：エアコンの効率的運用。夏季のジャージ登校など、服装による調節の許可。

(2) 施設・設備の充実：

課題：「トレーニングルームの器具不足」

「置き勉の制限」

改善案：器具の計画的更新。

教科書重量による身体負担軽減のため、置き勉許可範囲の拡大。

6 【学校運営】教職員との信頼関係の維持

(1) 教員体制の安定

年度途中の異動や顧問不在への不安に対し、迅速な情報開示と代替体制の明示。

(2) コミュニケーションの質

「先生と話しやすい」という強みを活かしつつ、面談等で「否定的な言い回し」を避けるなど、心理的安全性を高める配慮の継続。